

ユネスコ協会

四国中央ユネスコ協会(加藤敏史会長)が市指定有形文化財(建造物)安楽寺本堂の説明板や支柱、道案内標識など一式を寄贈



加藤会長(四国中央ユネスコ協会)が目録を手にする横山住職(真言宗大覚寺派安楽寺(左))と共に。

最大の魅力は、軒下全面的に施された「板軒彫刻」で雲龍の浮き彫りが、本堂の四方を囲み丸彫り技法により立体的に掘り出された「龍頭」が板軒から突き出し、向拝部分でも板軒が二層にせり出すと共に、大ぶりの「木鼻」など粗削りな彫刻が存在感を放つ。建物全体が彫刻の塊の様な印象を与え見る者に畏敬の念を抱かせる「本堂」である。平成31年3月26日に四国中央市指定有形文化財(建造物)に指定されており近く現地で設置工事をしたいとしている。

目録は真言宗大覚寺派無量寿山阿彌陀院「安楽寺(四国中央市新宮町上山、横山弘明住職)」の本堂説明板、支柱、道案内標識など一式を寄贈したもので加藤会長から目録が手渡されると横山住職から「受書(目録を受け取るの意)」が加藤会長の手に…。

ユネスコ憲章の精神に則り教育や文化、科学などの振興を通じて国際理解を深め、世界の中の日本人としてユネスコ活動を推進し近年は世界寺子屋運動(識字教育)にも取り組むなど多彩な活動が注目されている「四国中央ユネスコ協会(四国中央市、加藤敏史会長、賛助会員51社、個人会員40名)」は9月28日、同市のホテルグランフォールにおいて目録贈呈式を執り行った。



横山住職から「受書」が加藤会長に手渡され…。

安楽寺は四国中央市の山間部新宮町上山(令和3年8月末347人)は徳島県境に近い場所。創建は元治元年(1555)か天正11年(1583)頃と伝えられ本尊は阿彌陀如来、脇侍は弘法大師と不動明王。

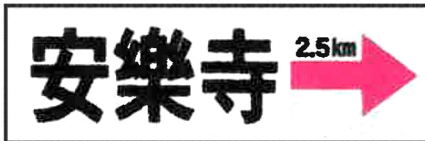
【①自立サイン】 size : W910 * H600 * D3

アルミ角パイプ枠組み/裏面リップ付き/Ｕバンド：4個付き

2本脚 60.5φ*H1500 +400 /2本

【②上り口/両面】 アルミ size:W900 * H300 * D2

裏面：リップ付き/Ｕバンド：2個/両面用



【③ジョイフル八咫】 size:W600 * H200 * D3 /横のみ



【④インター出口付近】

アルミ表示面 size:W300 * H900 * D2

裏面：リップ付き/Ｕバンド：4個

GL ポール：60.5φ*H1500 +400

Advertisement for Anrakji Temple signs, including a photo of the temple and descriptive text about its architectural features like the 'Itadaki' (upward projection) and 'Itadaki' (upward projection).